

令和7年度 第2回杵築市上下水道事業審議会

○日時 令和7年11月20日（木） 14：30～15：45

○場所 きつき生涯学習館 2階 第2研修室

○出席者 (委員)

長崎会長、糸永副会長、神鳥委員、土谷委員、佐々木委員
是永委員、矢守委員、中根委員

(事務局)

田邊上下水道課長、手嶋上水道管理係長、平田上水道工務係長、
井上上水道管理係主査

○議題

1. 開 会
2. 委員の交代について（副市長）
3. 会長あいさつ
4. 議 事
 - （1）前回の審議内容（質疑等）について（資料2～5）
 - （2）杵築市水道ビジョンの改定について（資料1）
 - （3）連絡事項
 - スケジュール変更について（資料6～資料7）
 - （4）その他
5. 閉 会

○会議の内容

1. 開会
2. 委員の交代について 興田副市長から矢守副市長へ交代したことを報告
3. 会長あいさつ 長崎会長
4. 議事 委員8名が出席しており、委員数の過半数に達していることから会議が成立している旨を事務局より報告。また、上下水道事業審議会条例に基づき、長崎会長が議事を進行。

(1) 前回の審議内容・質疑等について

事務局から資料2に基づき、前回（第1回）の審議会で委員から寄せられた意見、それに対する事務局の回答を反映した「杵築市水道ビジョン」素案の修正内容について説明。

・水質管理指標の追加

○委員 水質の現状を示す指標として、平均残留塩素だけでなく他の重要な指標も記載すべきではないか。

○事務局 水道法で定められた水質基準項目が 51 項目あることを説明。その上で、消毒副生成物に着目し、ビジョンに新たな指標として「総トリハロメタン」を追加した。この対応に伴い、ビジョン内の以下の 3 箇所を修正。

1. 「3-1 水質の現状」：総トリハロメタンの目標値を示す表を追加。
2. 「6-1 安心で安全な水道」：残留塩素と総トリハロメタンの関係性について解説する文章を追加。
3. 「用語の解説」：新たに「総トリハロメタン」の項目を追加。

・民間委託の効果と課題

○委員 民間委託によって、どの程度の費用削減効果があったのか。

○事務局 浄水場業務の委託は、仮に会計年度任用職員（9 名）で代替した場合と比較して最大で年間約 840 万円の人件費削減効果があったと試算される一方、検針業務等の委託では約 1,500 万円のコスト増となっている。コスト増の要因として、検針単独業務では受託に関心を示す事業者がなく、窓口業務等と合わせて包括的に発注する必要がある、それに伴う管理経費が増加した。コストは増えたが職員の高齢化が進む中での人材確保や技術継承が委託の主な目的であったことや、民間事業者の人員確保能力により、業務応援の人員配置体制ができていることなど、民間委託のメリットについて説明。

・有収率の改善策

○委員 有収率の現状と今後の改善計画について知りたい。

○事務局 有収率改善に向けた主要な取り組みとして、以下の 2 点を説明。

1. 人工衛星を活用した漏水調査（令和 5 年度実施）：事業費 544 万円（うち国庫補助 270 万円）を投じ、衛星データから 151 箇所の漏水可能性エリアを特定。現地調査の結果、82 箇所の漏水を発見・修繕している。また、地区別有収率で最も高い地区は大田地区で（99.7%）と最も低い山香地区（60.9%）であることを報告。
2. AI による管路更新優先度判定（令和 8 年度以降計画）：杵築市水道事業が保有する管路情報に、交通量などの周辺環境情報を組み合わせて AI で解析し、管路更新の優先順位を客観的に判定する事業を計画している。

- ・将来の設備投資計画

- 委員 資本的収支の将来見通しと、今後の管路更新工事費の計画内容は？

- 事務局 アセットマネジメント計画に基づき、管路更新には年間 2.7 億円が必要と試算されている。しかし、これが水道料金に与える影響を考慮し、今後 5 年間では年間 0.8 億円（5 年間合計で 4 億円）の投資を計画している。詳細な数値目標については、ビジョンではなく個別の「経営戦略」等に記載する方針であることを説明。

- ・ビジョン案の文言修正

- 事務局から以下の字句修正を報告。

- ① P1 の中段、接続詞「このため」を削除
 - ② P4 の合併日の日付修正（10 月 31 日→10 月 1 日）
 - ③ P9 の文末表現を「～です」「～ます」への統一
 - ④ P30 の 6-1 の 1-1 「強化」を、現状も十分であるというニュアンスから「徹底」に修正

- 委員 人工衛星による漏水調査についての実質的な市の負担額に対する費用対効果や調査の具体的な手順、浄水場運転管理等包括委託の民間委託先の選定経緯について知りたい。

- 事務局 漏水調査の方法について説明。調査結果のデータについては次回審議会にて提示する。包括委託はプロポーザル形式での選定したこと、また、今後の広域連携の必要性について説明。

(2) 杵築市水道ビジョンの改定について

事務局からこれまでの議論と修正を反映した「新水道ビジョン（11 月 20 日版）」を最終案として提示し、審議会はこれを審議会案として承認。

今後、杵築市議会へ報告を経て、パブリックコメント（市民意見公募）の手続きを行う。

(3) 連絡事項

- ・今後のスケジュールについて

- 事務局から今後の審議会スケジュールの変更及び審議内容について説明。

(4) その他

- ・次回審議会の日程について

第3回審議会は令和8年1月22日（木曜日）に開催決定。

5. 閉会